

# 研究者紹介 私の研究



理工学  
研究部

いし い いたる  
**石井 格** 部長

## 『エネルギー研究から 技術史研究へ』

私は2008年までは産業技術総合研究所の研究者として、エネルギー技術の研究をしていました。最初は超伝導送電ケーブルの開発、その後はパワーエレクトロニクスを含むエネルギー変換技術の研究を通して、将来のエネルギーのシステムがいかにあるべきかを考えてきました。

エネルギーシステムを広くとらえると、人類が地球環境問題にどう対応していくのか、というのが、これからの技術開発の底を流れる一番大きな問題だと思っています。現代は、人間の活動が地球全体に影響を及ぼすようになった、初めての時代です。これまでは人間が何をしようと、地球という大きなバッファに吸収されてその影響は見えませんでした。ところが今やそうは行かないほどに、人間の活動が巨大になってしまいました。地球温暖化の問題にしても生物多様性の問題にしても、そのような視点なしには解決ができません。

科博では、これまでの技術開発の経験や視点を活かして、我が国のこれまでの技術開発の歴史を振り返って、その特徴を明らかにしようとしています。その上で、地球環境の視点を取り込んで、将来の我が国が進むべき道についての方向性を提示する役に立ちたいと思っています。



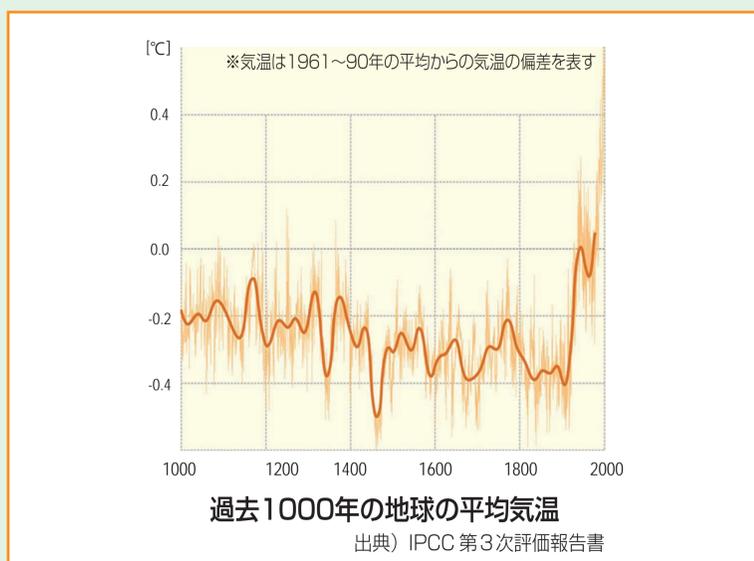
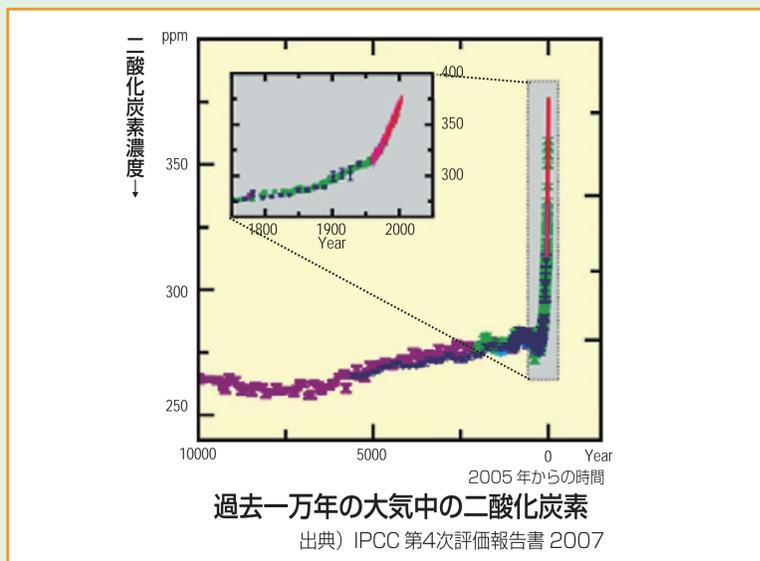
SiC パワーエレクトロニクス素子を用いた地下鉄銀座線車両



超伝導送電ケーブル



技術の系統化調査報告書  
産業技術史資料情報センター発行



## | 研究員に聞いてみました！

### 1) 専門は何ですか？

エネルギーの技術をベースにしていますが、科学技術史・産業技術史です。

### 2) 研究者になろうと思ったきっかけは何ですか？

子供の頃は天文が好きだったのですが、大学で物理の道に進んだら、人類の使うエネルギーの問題が大事だと思うようになりました。

### 3) 最近の研究活動で、最も興味深かった出来事は何ですか？

昔の研究で言えば、30年以上前からやってきた超伝導送電とSiCを使ったパワーエレクトロニクスのふたつが、どちらもようやく実用になりだしたことです。近年では、東日本大震災の後のエネルギーシステムをどうするかが大問題ですね。

### 4) 研究者になりたい方に一言アドバイスを！

自分が好きなことや、大事だと思うことをやればいいのですが、チームプレーもできるようになって欲しいと思います。

